

学年	高校 3 年	教科	地歴公民	科目	倫理・政治経済演習（選択）		単位数	7
教科書名		高校政治・経済（実教出版）			副教材名	20 日完成スピードマスター政治・経済問題集（山川出版） 20 日完成スピードマスター倫理問題集（山川出版） 政治・経済用語集 第 2 版（山川出版） 倫理用語集 第 2 版（山川出版）		
コース・クラス		N 進文系						

I. 目標

1. 3年次の基礎学力到達度テスト6割、大学入学共通テストも目指し、難関大学合格に向けて模擬試験や入試問題に対応できる実力を養う。
2. 民主主義の本質を理解し、広い視野から政治・経済・国際関係について客観的に理解する力を身につける。
3. 倫理・政治・経済・国際関係などに関する諸課題について主体的に考察し、解決策を探究する。
4. 公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

II. 授業のねらい

1. 日本が直面している国際問題を扱い、自分たちの身近な問題として捉えさせ、日本の立場、解決策を考える。
2. 様々な出来事に歴史的・政治的背景があることを理解させ、物事を多面的に捉える力を身につける。
3. 進路目標に即した問題演習を行うことで、センター・難関私大（MARCHレベル）に対応できる学力を目指す。

III. 授業の進め方

1. 毎時間、冒頭に時事問題を取扱い、世の中の動きをつかむようにする。
2. 板書を軸とした講義に加え、電子黒板や図表も活用し、効率的に授業を進める。
3. DVDや図表を効果的に活用し、視覚から理解を深めさせる。主権者教育はAL方式で行い、より実効性のあるものとする。
4. 小テストを実施し理解度を確認すると共に、単元ごとにセンターレベルの問題を解く。

IV. 学習上の留意点

1. 現代社会における事象への関心・意欲を高めるような内容を理解すること。
2. 用語の暗記のみではなく、様々な事象と関連付けて覚えること。
3. 板書の書き写しだけではなく、口頭での説明を細かくメモし付随する知識も身につけること。

V. 定期試験

- 1学期 中間試験 : 政治分野（日本国憲法の基本的性格）・経済分野（現代経済と福祉の向上）
倫理分野（青年期の課題と自己形成・）
- 1学期 期末試験 : 政治分野（日本国憲法の基本的性格）・経済分野（現代経済と福祉の向上）
倫理分野（人間としての自覚）
- 2学期 期末試験 : 政治分野（現代の国際政治）・経済分野（世界経済と日本）
倫理分野（現代に生きる人間の倫理）

VI. 評価の方法

1. 各学期の定期試験
2. 小テスト
3. 課題提出

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目		評価方法	到達目標	
一学期	4	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本 原理	第1編 青年期の課題と人 間の自覚	小テスト 中間試験	・人権の意義、法の支配、民主政治の発達、世界の政治体制、20世紀の教訓を学習し、民主政治の課題は何かを考える。 ・資本主義経済の発達と変容、その特徴について学習し、経済活動の意義と経済のグローバル化が生活に及ぼす影響について考える。 ・国会、内閣、裁判所、地方自治のしくみを学習し、民主主義がどのように実現されているか理解する。	・2年次の復習として、定期的に演習問題を解いていく。 ・青年期について多角的に考える。 ・人間とは何か、哲学的視点から考える。 ・自己の生き方について考察する。 ・それぞれの宗教の特徴を理解する
	5	1. 政治と法 2. 民主政治と人権保障 3. 国民主権と民主主義の発展 4. 世界の政治体制	第1章 青年期の課題と自己形成 第1節 青年期の意義 第2節 青年期の課題			
	6	第2編 現代の経済 第1章 経済社会の変容	第2章 人間としての自覚 第1節 ギリシア思想 第2節 キリスト教 第3節 イスラーム			
	7	1. 経済活動の意義 2. 経済社会の形成と変容 3. グローバル化と現代資本主義経済	第4節 仏教 第5節 中国思想			
		第1編 現代の政治 第3章 日本の政治機構		小テスト 期末試験		
		1. 立法 2. 行政 3. 司法 4. 地方自治				

一 学 期	9	第2編 現代の経済 第2章 現代経済のしくみ 1. 市場機構 2. 現代の企業 3. 国民所得と経済成長 4. 金融のしくみ 5. 財政のしくみ	第3章 日本人としての自覚 第1節 古代日本人の思想 第2節 日本の仏教思想 第3節 近世日本の思想 第4節 西洋思想の受容と展開	基礎学力到達度テスト対策	・経済主体、市場、国民所得、経済成長、金融、財政の役割を学習し、経済活動がどのように調整されているか考える。	・基礎学威力到達度テストに向けて、演習問題を解く。 ・古代日本人の宗教観について、西洋の宗教観と比較する。
	10	第2編 現代の経済 第3章 現代経済と福祉の向上 3. 日本の中小企業と農業 4. 国民の暮らし	第2編 現代と倫理 第1章 現代に生きる人間の倫理	小テスト	・中小企業、農業、国民の生活、環境・公害、労働問題、社会保障等、多様な課題への取り組みを考える。	・日本で受容された仏教の特徴、鎌倉新仏教の特徴、日本文化と仏教の関係について理解する。
	11	5 環境保全と公害防止 6 労使関係と労働条件の改善 7 社会保障の役割	第1節 人間の尊厳 第2節 科学・技術と人間 第3節 民主社会と自由の実現			
	12	第1編 第5章 現代の国際政治 1. 国際政治の特質と国際法 2 国際連合と国際協力 5. 国際紛争と難民 第2編 第4章 世界経済と日本 1. 商品・資本の流れと国際収支 5. 経済協力と人間開発の課題	第4節 社会と個人 第5節 人間への新たな問い 第6節 社会参加と幸福	小テスト 期末試験	・国際法、国際連合、冷戦終結後の国際政治、核軍縮や管理について国際社会と日本の関係について戦後史とともに考える。 ・国際経済体制の変化について考える。戦後の国際秩序の変化に関わる諸問題を理解する。	・日本におけるキリスト教の受容、西洋近代思想、民俗学や文芸批評について理解する。 ・近代の自然科学、機械論的自然観を理解し、それらが与えた影響について考察する。

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。